

# 社会資本総合整備計画書(第3回変更)

吉原地区都市再生整備計画(第3回変更)

平成24年3月21日

静岡県富士市

社会資本総合整備計画（第3回変更）

平成24年3月21日

計画の名称	吉原地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	富士市
計画の目標			

大目標：『東海道の宿場町として栄えた歴史ある中心市街地「吉原地区」において、まちづくりに必要な事業を総合的に推進し、「まちの顔」にふさわしいにぎわいの再生を図る。』  
 小目標：「安全・安心かつ快適なまちづくり」  
 「協働による市民主役のまちづくり」  
 「情報を活用したまちづくり」  
 「吉原地区の歴史・文化を活かしたまちづくり」

計画の成果目標（定量的指標）

- ・吉原地区への来街者数を維持
- ・商店街のにぎわいの創出に対する満足度を6.4%（H21）から7.0%（H26）に増加
- ・商店街へのアクセス性の満足度を26.5%（H21）から29.0%（H26）に増加

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
商店街8箇所における歩行者の1日交通量の平均値	576人/日	—	576人/日	※現況値はH21時点による
吉原商店街への来街者を対象としたアンケート調査のうち、商店街のにぎわいに対する満足度において、「満足」、「やや満足」と回答した人の割合	6.4%	—	7.0%	※現況値はH21時点による
吉原商店街への来街者を対象としたアンケート調査のうち、商店街へのアクセス性について、「満足」、「やや満足」と回答した人の割合	26.5%	—	29.0%	※現況値はH21時点による

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,036百万円	A	1,036.2百万円 (うち提案事業分 60.6百万)	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C)/(A+B+C)	5.8%
-------	---------------	----------	---	--------------------------------	---	------	---	------	----------------------------------	------

交付対象事業

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	都市再生整備計画	一般	富士市	直接	富士市	吉原地区都市再生整備計画事業	A=330ha	富士市						1,036.2	別添1
合計													1,036.2		

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計													0		

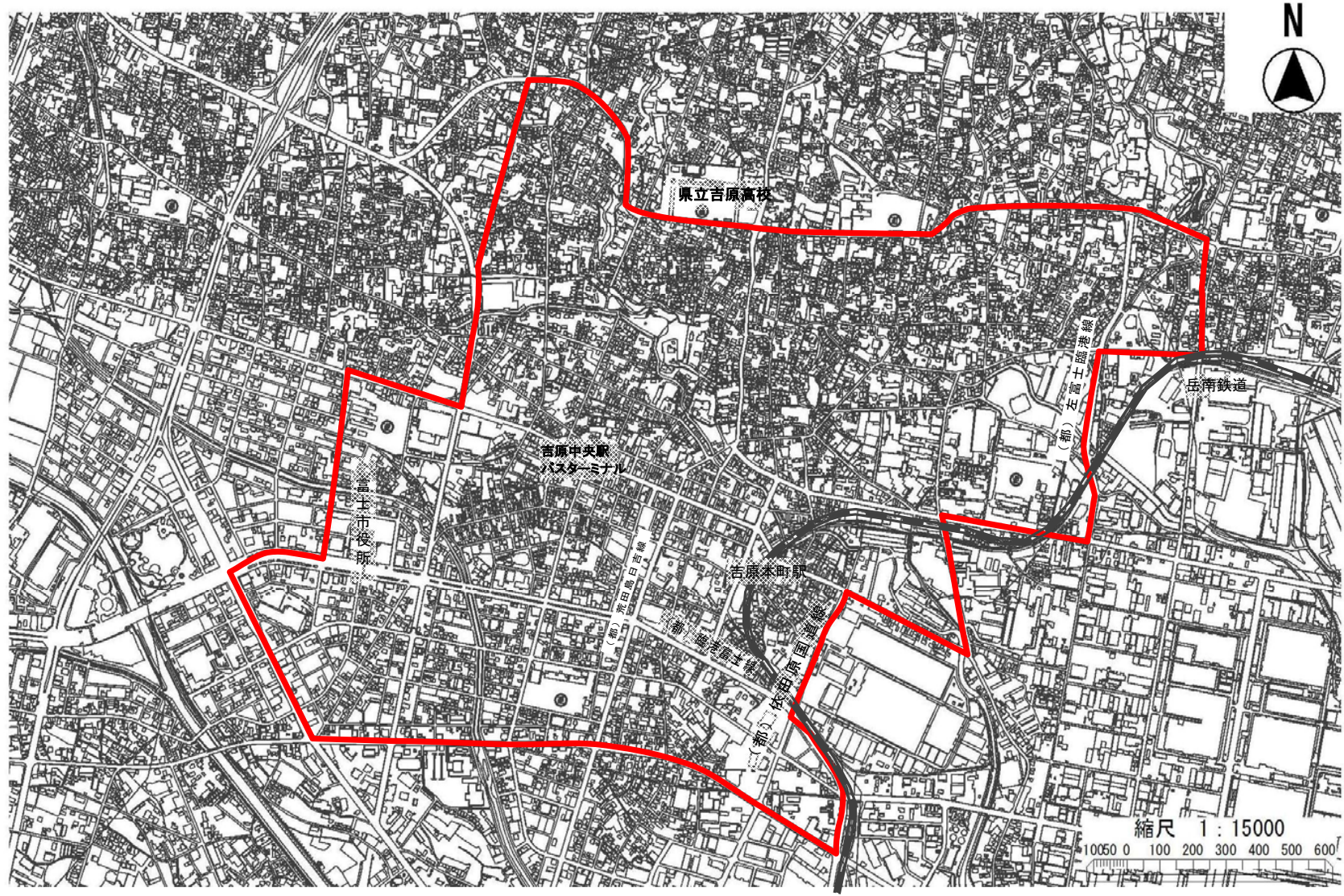
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
合計																0

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計													0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

(参考図面)

計画の名称	吉原地区都市再生整備計画	交付対象	富士市
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)		



# 都市再生整備計画(第3回変更)

よしわらちく  
吉原地区

しずおかけん ふじし  
静岡県 富士市

平成24年3月





## 都市再生整備計画の整備方針等

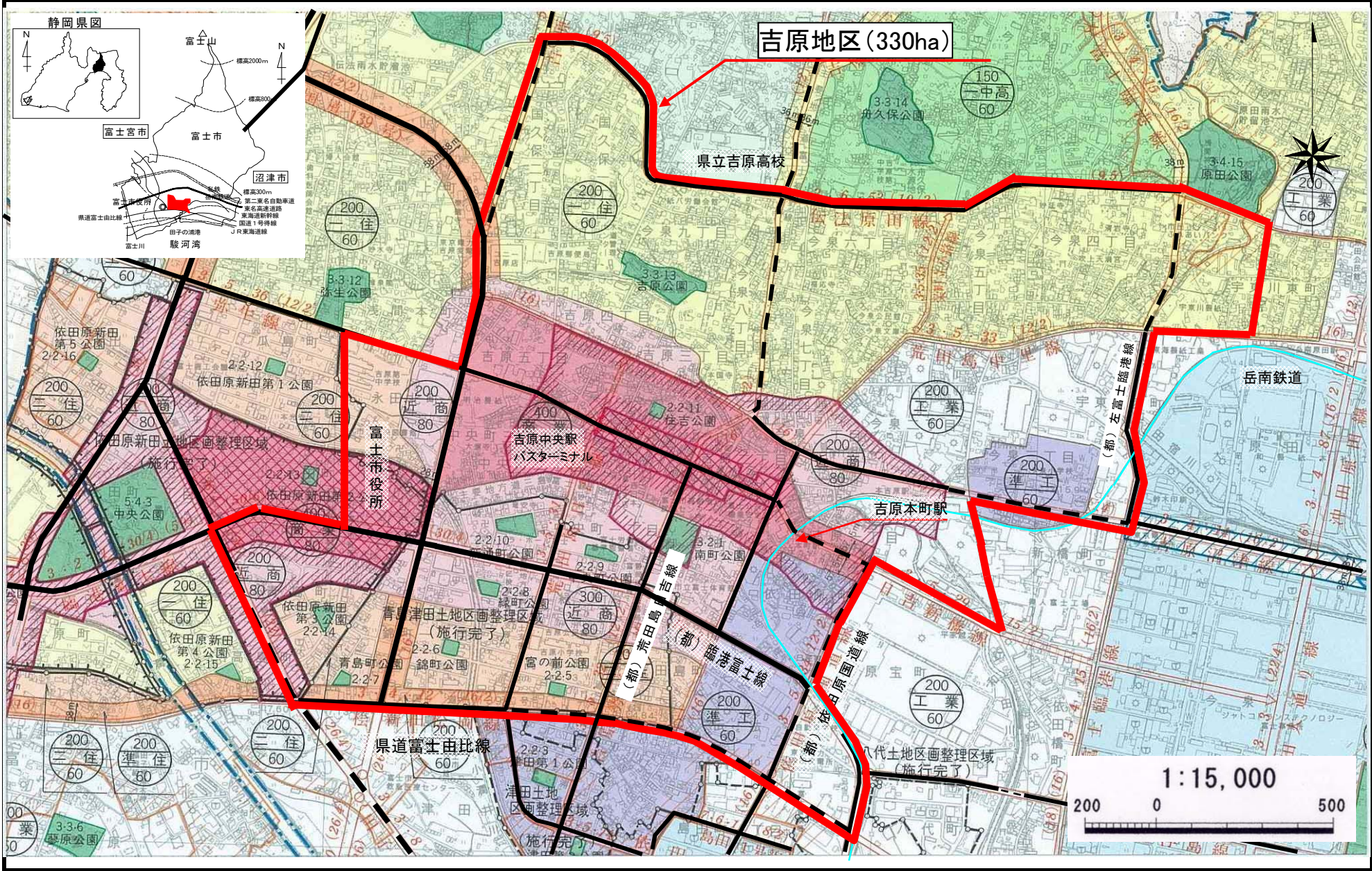
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【整備方針1】</p> <p>・中心市街地周辺において、安全かつ快適な環境を創出するための基盤を整備し、中心市街地へのアクセスを改善するとともに、地域住民の生活利便性を向上する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【道路】地方道事業(依田原国道線)</li> <li>・【道路】地方道事業(伝法原田線)</li> <li>・【道路】街路事業(左富士臨港線)</li> <li>・【道路】歩道事業(国久保二丁目1号線)</li> <li>・【道路】歩道事業(吉原勢子辻線外9路線)</li> <li>・【道路】自転車歩行者道(臨港富士線)</li> <li>・【地域生活基盤施設】(仮)吉原中央駅南自転車駐輪場</li> <li>・【事業活用調査】事業効果分析調査</li> </ul>
<p>【整備方針2】</p> <p>・既存の市民活動の充実・拡大や新たな活動の芽生えを支援することにより、市民活動を一層活発にし、協働による市民主役のまちづくりを推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【まちづくり活動推進事業】つけねホリ外推進事業</li> </ul>
<p>【整備方針3】</p> <p>・吉原地区の歴史や今に関するラジオ番組の提供により情報発信を行うとともに、多くの市民活動に関するラジオ番組の自立的運営を支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【地域創造支援事業】まちづくりラジオ番組提供事業</li> </ul>
<p>【整備方針4】</p> <p>・地域の文化や歴史などを活かし、商店街全体において吉原宿の個性を活かしたまちづくりを創出する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【地域生活基盤施設】歴史案内板設置事業</li> <li>・【公園】吉原公園</li> </ul>
<p>その他</p>	
<p>・本市は、北に霊峰富士を仰ぐ非常に恵まれた環境にある。市民にとって国民にとっても大きな財産である富士山の景観に配慮するため、電線の地中化を行った。</p> <p>・地区内の定住人口の増加促進のため、優良建築物等整備事業の採択を受け、地上14階建て店舗・公共施設併用住宅を建設した。</p> <p>・次世代を担う高校生に対して商業と教育の社会実験経験の場として、商店街の空き店舗を活用したチャレンジショップの展開など、若い世代の集客力の向上で賑わいの創出を図ろうとしている。</p> <p>・空き店舗前や商店街に隣接する場において、商店街の不足業種を個人・商店等から幅広く参加者を集めたフリーマーケットを主軸に朝市を開催している。</p> <p>・400年以上の歴史を持ち、「東海道一」といわれる吉原祇園際においては、太鼓や笛の練習を通じて、世代を超えた交流と歴史・文化の多くの市民が触れることのできる機会を提供している。</p>	





# 都市再生整備計画の区域

吉原地区(静岡県富士市)	面積	330 ha	区域	富士市吉原地区及び今泉、原田地区の一部
--------------	----	--------	----	---------------------





## 吉原地区(静岡県富士市) 整備方針概要図

目標	東海道の宿場町として栄えた歴史ある中心市街地「吉原地区」において、まちづくりに必要な事業を総合的に判断し、「まちの顔」にふさわしいにぎわいの再生を図る。	代表的な指標	来街者数 (人/日)	576	(21年度)	→	576	(26年度)
			商店街のにぎわいの創出に対する満足度 (%)	6.4	(21年度)	→	7	(26年度)
			商店街へのアクセス性の満足度 (%)	26.5	(21年度)	→	29	(26年度)

